

ああ、 結婚！

—婚活日記—

第34回

黒田長宏

<2025年2月6日>

60回の原稿を送った。この61回で婚活成就達成する気持ちで前向きな考えで行こう。

<2月12日>

昨日、同県同世代とマッチングし、今日まで双方対応良く、今度こそかなと思った矢先、未だに私としてはよくわからないが、1点、私が言ったことにクレームをつけられ、メッセージがチャットのようにになっているうちにブロックされてしまった。この空振りは痛い。疲れた。それでもくじけず次に向かう。少し可哀そうな境遇に感じる人だったのも、助け合えずに残念だったと思うてしまうが、相手がブ

ロックしたのだから仕方がない。くよくよしていても相手にはもう伝わらない。

<2月20日>

様々なケースから終えてしまうにせよ、既に全くマッチングしないわけではないことは事実だ。

マッチングアプリという存在形式が無かったらマッチングはもともとないわけだ。その着目は必要ではないか。(夜)しかし、ここ3人ばかり、マッチングするが、メールの内容で急に冷えてしまい終えてしまう人ばかり来ている。いったいどういうことなのか。寛容性がないのか、私に変なのか。考えても仕方がないので新たな人で急転換しない人が出てくるのを信じて続けるしかない。

<2月28日朝>

23日の朝からマッチングした人と今朝までメッセージ交換していた。していた。ということは破局したが、それまでとても面白がってくれたり、期待が持てると思っていたので、残念極まりない。少しずつずれていったのかも知れないが、決定打は、昨晚、帰宅したらメールするとお相手からあったので待っていたら来なかったの、なぜか問い合わせの方法が重すぎたらしい。対人援助学マガジンで私の文章をご存じの方はうなずけるだろうが、私は重くて長いのである。本当に残念である。仕方がない。ブロックしたら消えてしまう。次を目指そう。私は職場の数人に洗いざらい、マッチングしているしていないと情報報告している露出タイプなのだが、またかアホだなとまた思われるだろうな。しかし、笑いごとで済まされない。ようやく孤独死しない分岐点だったのに。ただ、お相手も大病経験

者だった。だからこそ、助け合いたかったのだが。

<3月2日>

6日間、メールが続いた人は今日ももったいなかったと思いながら、今日は勤務休日だったが、かなりの時間を費やして、9つも加入している婚活アプリをやっていた。早朝、重度の障がいのある人とマッチングしてメールを2, 3回交換したが、私の包容力が足りずに、最後に私から、「お互い頑張りましょう」と書いたが間に合っただろうか、ブロックされて終了。重度の障がいを持った人や、女性では、人それぞれ好みが違うのが救いだが、私の基準に漏れてしまうルックスの人は悲しく思う。ルッキズムとかいうやつか。

<3月24日>

文書の保存を忘れていたらしい。書いたものが消えてしまった。この間、18日間。次の人とメッセージ交換をして、破局した。詐欺とも言えないのだが、なぜか投資を私にすすめたいらしかった。それで断念してしまった。お相手が提示していた投資には興味がわかなかった。遠距離のため、高速バスまで予約するほど、頑張ったのに、その翌日のメッセージ交換で壊れた。しかし、その投資にせよ、知らなかったことを教えてくれたり、私が忘れていたことを思い出させてくれたりした。次頑張ろう。(その次の人は一日で消えていた…)

<4月4日>

あるアプリでマッチングした人とラインで復活して、ほかのマッチングアプリに集中できない状況。

それにあまり効果のないマッチングアプリもあり、9つから6つに減らした。

ところが、1つ、昨日、15000円弱の自動継続が入ったアプリがあり、大失敗。今解約したので、まるまる15000円損した。だけど6か月継続しても効果がないと思うアプリだったから、仕方ない。

もう自動継続課金されないかの確認メールを送ったところ。今月はマッチングアプリその他で大きい出費。痛い。来月は車検まである…。

<5月3日>

締め切り通知が来て、思い出したら前回よりほぼ1か月経過してしまっていた。3月4日にマッチングした人とライン友達のようになったものの、このところ返事が来なくなった。数日前に同県人とマッチングしたがそれきり。ここは、締め切り通知をきっかけにして、今回もここで区切ろうと思う。次回こそ、次回こそと思いながら、こうなってしまうのであるが。それでも、こんな状況から結婚できるのかという、人生を賭けた重要な実験は続く。